

新人研修での学びと
これから実践したい看護

5階病棟看護師

言われて嬉しかったこと、悲しかったこと

* 嬉しかったこと

- ~ あなたに出会えて良かった ~
- ~ 私はあなたに看護されたい ~

* 悲しかったこと

- ~ 私の事よりも自分の都合ばかりね ~

新人研修での学び、印象に残ったこと

* 患者体験を通して 食事援助技術

- ・ 臥床して水のみで飲水する。
- ・ ファーラー位で食事介助をうける。

「食べることは生きること」

この言葉や患者体験を通して、患者に食事の楽しみを損なわせないように、患者のペースに合わせ、忙しくても落ち着いて食事介助をしたい。

苦痛の緩和・安楽確保の技術

* 病気による生活の制限や苦痛、入院という環境の変化のなかで、罨法、リラクゼーションなどのアプローチによって、癒やす技法が大切。

湯たんぽ(ゴム製)を実際に作った！

* 患者に安全・安楽な湯たんぽを作るのも知識、経験、感覚が必要な技術である。

看護観、これから実践していきたい看護

- * 患者に共感的理解を示す
- * 患者の立場になって根拠のある援助
- * 患者の本質や背景を理解する気持ちで関わる

そのためには

- * 自分の見えていることが全てではないと自覚する、決めつけない
- * スタッフとのコミュニケーションを大切にする
- * 表情や言動に気を配る
- * 言葉にしないことを感じとれる感性を磨く

- * 自分が健康でなければ豊かな看護はできない。
- * ストレスを上手に発散できるようにする



看護が好きということを忘れず、チームメンバーや他職種との連携を大切に、自分らしく看護や仕事をしたい